



令和3年度 郡山市市民活動推進顕彰事業 「まちづくりハーモニー賞」 受賞者紹介

まちづくりハーモニー賞とは

協働のまちづくりを推進するために、市民の皆さんが自主的、主体的に行う地域の特性を生かした創造性豊かな地域づくりや、波及効果のある市民活動など、優れた取り組みを行っている個人や団体、事業者を表彰する制度です。受賞された皆さんの活動は、SDGs「持続可能な開発目標」のゴールにも寄与しています。



市民活動実践部門

(五十音順)

菊池 信太郎 氏



小児科医として、東日本大震災後に市や医師会と連携し「郡山市震災後子どもの心のケアプロジェクト」のリーダーとして、子どもの心と体のケアや健康づくりに精力的に取り組み、地域の健康増進、子育て支援をけん引してきました。

また、PEP Kids こおりやまの開設と運営のみならず、地域コミュニティの活性化、地域住民の交流の場づくり、地域の健康増進、本町地域の活性化など、自身の病院を「街の保健室」として持続可能な地域づくりに貢献しています。



PEP Kids こおりやま
オープン 10 周年記念セレモニー

佐藤 美羽 氏



給食センターや中学校に自ら協力を仰ぎ、中学校の残食量の調査と改善策の立案、実証を行いました。

ポスターや動画を制作して、中学生に残食量の多さを認識してもらい、配膳方法を工夫して初めに配りきるなどの具体的な活動を提案し、実証を行った中学校では実際に残食量が減少し、食品ロス削減に貢献しました。

効果的な取り組みとして、今後、市内の学校に波及することが期待されています。



研究成果をプレゼンする様子

土棚さくら会



西田町土棚地区で 2018 年に立ち上げた、町で最初の、地域の高齢者などを対象とした「通いの場」です。

会員は週に一回集まり「いきいき百歳体操」などの健康体操を行うほか、ウォーキングなどの健康イベントに誘い合って参加したり、地区の花壇の手入れをしたりと住民主体で楽しく積極的に活動しています。

会の立ち上げ後、町内でも「通いの場」への関心が高まり、新たに 4 か所「通いの場」が増えたほか、土棚さくら会には他の地区からの参加者も加わり、会員が増えています。

会員同士のつながりをつくり、互いの励みにもなって、地域の介護予防や健康増進、社会参加の促進に貢献しています。



いきいき百歳体操実施の様子

特定非営利活動法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議



猪苗代湖の水質日本一の座を取り戻すことを目指して、2015 年に設立しました。

ボランティアの参加を募り、共に行う水草回収等の湖岸清掃や、小中学校での水環境教育、猪苗代湖に関する歴史や文化等をまとめ、猪苗代湖の価値や魅力を再確認する「猪苗代湖学」など、様々な活動を展開しています。

郡山市民のみならず、多くの県民を対象に水資源への理解や関心を深める機会を提供し、猪苗代湖の水質改善による安全な水の安定供給、環境保全意識の啓発につながっています。



漂着水草の回収活動

七海 重義 氏 ・ 前林 正一 氏



2人で協力し、熱海町上伊豆島地区・下伊豆島地区の道路や藤田川河川敷の草刈り、ゴミ拾いなどを、自主的に20年にわたり実施しています。

近くに西部工業団地があり、交通量が多い道路ですが、きれいに除草することによりゴミの投げ捨てが減少しました。

また、それぞれ部落会長を務めた際には、藤田川河川敷のアジサイなどの植栽にも尽力し、地域の良好な環境づくりに貢献しています。



七海 重義 氏 前林 正一 氏
草刈り作業の様子

美環大谷会



2006年から、三穂田町大谷地区の水田脇にアヤメの植栽を始め、現在では約3.5kmにわたり1万本の美しいアヤメが楽しめるアヤメロードとなりました。

地域住民が一体となり、植え替えや水やり、除草などの管理を行い、開花時期には、美しい景観が多くの方を楽しませています。

また、地域の子どもたちと共に周辺農地の水質検査や生物調査なども行い、環境意識の向上や、地域の絆づくりにもつながっています。



アヤメの植え付け

緑ヶ丘東一丁目防犯パトロール隊



安全・安心に暮らせる地域づくりを目的として、2010年から自主防犯活動をしています。

毎月2回、町内の防犯灯や空き家、見通しの悪い箇所などの点検をし、さらに拍子木で火の用心を呼び掛けながら、パトロールを実施しています。

また、災害時の避難場所となる公園の草刈りや清掃活動なども行い、事件・事故の起こりにくい地域づくりのために、多面的に活動しています。



防犯パトロールの様子

南美野合奏団



音楽活動を通して親睦を深め、青少年の育成や地域文化を向上させることを目的として、2009年に設立しました。

毎年秋には地域の小中学校と合同で「ふれあいコンサート」を開催し、楽器に触ったり演奏したりできる楽器体験コーナーを設けるなど工夫を凝らして、幅広い世代に「生の音楽」に触れる機会を提供し続けています。

また、近隣の学校での楽器指導支援ボランティアでは、団員の経験を生かして丁寧な指導を行い、子どもたちや先生方からも喜ばれており、「楽都こおりやま」のまちづくりに貢献しています。



ふれあいコンサート

市民活動応援部門

社会福祉法人郡山福祉会



2016年から片平町の集会所などで「YY健康教室」を開催し、健康体操や看護師によるバイタルチェック、生活のアドバイスなどを通じて、住民の健康づくり、集いの場を提供しています。

コロナ禍にあっても、自宅で楽しく体操ができるよう動画を作成し、DVD配布やホームページでの公開により、だれでも活用できるようにしました。

すべての人々の「健康的で自律した生活」を確保し、地域福祉の向上、住み慣れた地域で自分らしく暮らせる街づくりを目指しています。



健康寿命を延ばそう

青少年部門

♥NISHITA (アイラブニシタ) プロジェクト



西田学園卒業の高校生が主体となって、過疎化や少子高齢化が進む西田町を活性化させ、いきいきと幸せに住み続けられるふるさとにしたいと、2019年から活動しています。

クラウドファンディングで資金調達しウェブサイトを作成し、ウェブサイトやSNSで西田町の観光地や名所、店舗などの情報を発信したり、ウェブ上でのイベントを開催したりと、新しいコンセプトで西田町の魅力を伝えています。

地域の多くの人々の参加・協力を得て、地域の活性化や魅力の再発見、郷土愛の醸成につながっています。



ココラジに出演して西田町への思いを語る

郡山市立熱海小学校



熱海小学校では、毎年、児童が地域ボランティア活動として校区内の施設等の除草や、高齢者施設入所者の方との交流、分校区内での舞踊披露などを行い、地域の皆さんに喜ばれています。また、2020年度には、観光PRプロジェクトとして萩姫かるたを題材にした看板や花壇を制作して磐梯熱海駅前に設置したり、動画制作にも取り組みました。

これら様々な活動を通して、児童が地域への理解を深めるとともに、地域の活性化や、ふるさとへの絆づくりに貢献しています。



観光PR活動中の様子

福島県立湖南高等学校学校運営協議会



湖南高校は、2020年度にコミュニティ・スクールの指定を受け、地域住民と保護者、学校が協働して学校運営を行っています。

山間高冷地の特性を活かした「蕎麦プロジェクト」では、全校生と地域住民と一緒に、種まきから収穫、蕎麦打ち、六次化商品の開発まで行い、蕎麦の魅力を通じて、湖南地域の魅力化に取り組んでいます。

今後も長年の伝統を受け継ぎながら、生徒を中心として活動を発展させ、協働により明るく地域に開かれた湖南高校の運営と学びの充実・地域の魅力化を進めていきます。



「湖南高校そばファーム」での蕎麦の種まき